

週間国際経済 2023 (8) No.342 03/16~03/25

- 03/16・クレディ・スイス、株価最安値 中銀から最大7兆円調達
- ・ホンジュラス大統領 中国との国交樹立指示 台湾は翻意求める
 - ・北朝鮮、ICBM 級発射 EEZ 外、北海道沖に落下
- 03/17・欧州中銀、0.5%利上げ 3 会合連続 インフレ抑制を優先
- ・日韓、関係正常化で一致 首脳会談 アジア安保再構築 シャトル外交再開
日本、輸出管理を緩和 韓国、WTO 訴え撤回 軍事情報協定 (GSOMIA) 回復へ
 - ・ファースト・リパブリック銀行支援 米大手 11 行 4 兆円預金 資金繰り不安に対応
 - ・FRB 融資、最高 20 兆円 米銀向け リーマン時超える
- 03/18・米銀時価総額 60 兆円消失 SVB 破綻 1 週間 市場の混乱続く
- ・仏政権、年金改革で窮地 法案強行採決に野党反発 デモ 200 人逮捕
 - ・米、ウクライナ侵攻で中国仲裁に深い懸念 政府高官「ロシアを利する」
- 03/19・日独、経済安保軸に協力 初の政府間協議 供給網・脱中国狙う
- 03/20・先進国排出量推計に異論 民間分析、衛星データ活用 <1>
- ・サウジ、イラン大統領招待 受諾の意向、外交正常化で
 - ・日米欧、ドル供給強化 6 中銀協調 金融不安に対応
 - ・中国、財政赤字最大 74 兆円 今年 15%増 社会保障費の膨張続く <2>
- 03/21・UBS、クレディ・スイスを救済買収 危機封じへ当局主導 <3>
- 資本増強「AT1 債」全損に 残高、推計 30 兆円 世界への波及懸念
- ・岸田氏インドで講演 途上国インフラ支援 750 億ドル モディ氏、G7 出席意向
 - ・タイ下院解散、総選挙へ 投票は 5 月 国軍影響排除に野党大勝が条件
- 03/22・中ロ首脳共同声明 「一つの中国」支持 経済連携 対米結束を誇示 <4>
- 習氏対ウクライナ「和平協議を」 プーチン氏、中国案評価
- ・岸田首相キーウ訪問 (21 日)「揺るぎない連帯」ゼレンスキー氏と会談 <5>
 - ・スリランカ支援承認 IMF、3900 億円 債務再編、中国も協力へ
- 03/23・物価高支援累計 15 兆円 世帯の 2 割に 3 万円 エネ負担減に 9 兆円
- ・英消費者物価 10.4%上昇 2 月、4 ヶ月ぶり野火拡大
- 03/24・米、0.25%利上げ継続 インフレ対応を優先 金融不安で「停止も議論」 <6>
- 物価と金融不安 抑制苦慮 利上げで債券含み損 80 兆円 銀行の脆弱性露呈
- ・スイス中銀、0.5%利上げ クレディ「危機に歯止め」 英、利上げ 0.25%に縮小
 - ・増える非正規、日本突出 昨年 26 万人増 2101 万人 賃金上昇に重荷
 - ・米、中国への情報流出追及 議会広聴課 TikTok トップは否定 禁止売却案に反論
 - ・消費者物価 3.1%上昇 2 月 1 年 1 ヶ月ぶり鈍化 政府による電気・ガス抑制で
- 03/25・仏、反年金改革 110 万人デモ 治安部隊と衝突 英国王、訪問を延期
- ・欧州銀くすぶる信用不安 ドイツ銀株 5 ヶ月ぶり安値 独首相火消し「心配ない」

<1>

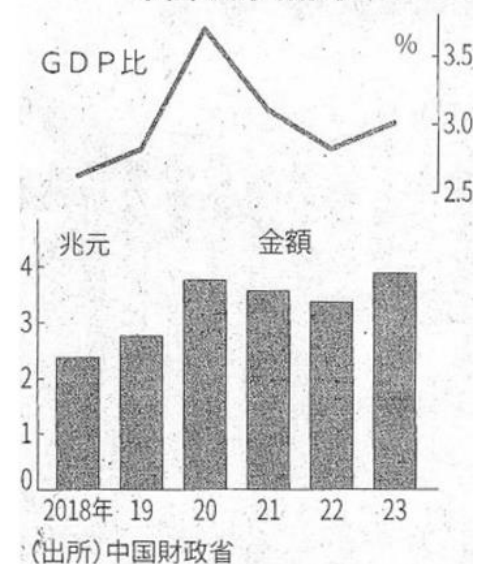
国連への報告は過小評価の可能性

国	各国の報告	NGO算定	倍率
米国	3.7億トン	11.8億トン	3.2倍
ロシア	2.5	11.6	4.6
カナダ	1.6	4.1	2.5
豪州	0.5	1.2	2.5
ドイツ	0.2	0.3	1.3
日本	0.3	0.3	1.1
先進国全体	14.0	32.7	2.3

(注) 石油・ガスの生産や輸送などに伴う排出量 (CO₂換算)。国連とClimate TRACEの資料をもとに作成。小数点第2位を四捨五入

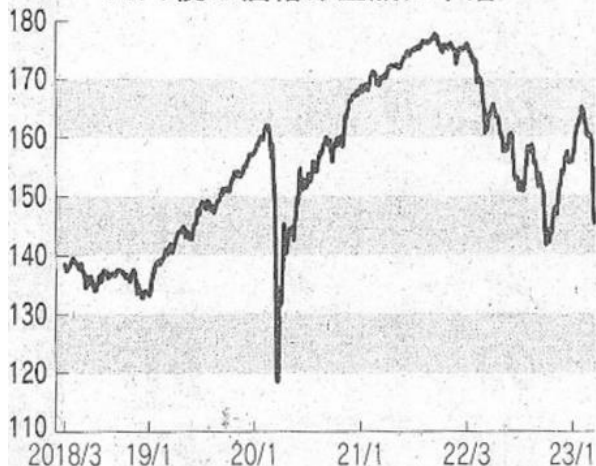
<2>

中国の財政赤字



<3>

AT1債の価格は全般に下落



(注) ICEとバンク・オブ・アメリカ算出の偶発転換キャピタル指数、株式転換または評価損吸収メカニズムを持つ先進国市場の債券価格を指数化

<4>

中口共同声明のポイント

2022年2月	中口関係	23年3月
協力に禁じられた分野はない	→	非同盟、非対抗、第三国を標的にしない
「一つの中国」原則を順守	→	「中国の領土保全のための措置を断固支持」と加筆
NATOの拡張継続に反対	→	「責任ある対話」が最良の道
2国間・多国間経済統合のプロセスを促進	→	自国通貨の使用拡大を支援
BRICSで対話も	→	新興市場と発展途上国の発言権を高める

<5>

首脳会談の主なポイント

- ◆ 殺傷能力のない装備品支援へ3000万ドル
- ◆ エネルギー分野などで4億7000万ドル支援
- ◆ ゼレンスキー大統領が広島サミットへオンライン参加
- ◆ ロシアの侵攻は法の支配による秩序損なう
- ◆ 侵攻はインド太平洋地域にも直接的脅威
- ◆ 対口制裁の維持強化が不可欠

<6>

急速利上げで米銀の債券含み損が急拡大



(注) 政策金利は誘導目標の上限、四半期末
(出所) FDIC、セントルイス連銀